

かわらばた すまし屋ハウズ

2019-8
vol.
242

発行
有限会社
大和久建築
TEL 0475 (22) 4148
茂原市高師 4 7 6

犯した罪はいつまで償えばよいのか。時の為政者や指導者の歴史認識や思惑が世情に反映し、一時は収まっていたはずの戦争責任問題が再燃したことは誠に遺憾。一日も早く混沌化する日韓関係が改善されることを祈るばかりです。

☆今月の一言【人有る中にも人無し】世の中に人は沢山いるが、真に立派な人物はなかなかいないもの。知名度や経歴・損得勘定に捉われず内面をしっかりと見極めた人選を心がけたいものです。

みるきくまなぶ 交遊録

時代と共に変わりゆく環境や気象。事故や災害発生の度に法制強化や新工法開発が繰り返され、いつしか建築という分野は数知れない業種に細分化され、各々に専門的知識や技術を有する人材が求められるようになりました。

専門的知識の造詣の深さを知る指標の一つとして、一般的で分かり易いのが資格。例えば建築関連資格は、設計・企画系、監理・管理技術系、技能系と大別できますが、一業種でも資格は複数に分かれているのも数あり、まさに資格社会といった様相は否めません。

建築士と言えばお馴染みの資格ですが、1・2級はもとより昭和59年誕生の木造建築士はご存じない方もあるようです。この建築士、取得したままでよいという訳ではなく、資質向上や法改正等の周知を図るため、3年以内に1度定期講習を受けることが義務付けられています。講義終了後、終了考査という簡易な試験もあり、合格率は極めて高いものの記入ミスで再試験を受けた例も聞きます。建築士事務所登録更新の際この修了証が必要となるので受講は欠かせません。

近年、環境重視の法整備推進に関する新たな資格も誕生しています。時代のニーズに応え、筆者も昨年「既存住宅状況調査技術者」と「住宅省エネルギー技術者」講習を受講し、両資格を取得しました（建築士同様終了考査有り）。前者の主な業務は、既存住宅の健全度査定といったところ。状況調査をすることで永年使用を目指した適切なりフォームを可能にし、中古住宅有効利用により解体という大量廃棄抑制に繋がります。後者は、住宅の高断熱化の知識に特化した技術者。省エネルギー住宅普及の一役を担います。

右が前述の証明証。先に取得の既存住宅は、証明写真代800円をけちり自撮りのためいかり肩に...。然るべき場所で撮らなければと反省...（笑）

ざつがくの庭

「快適な家ってどんな家?」「自分が住みやすく感じているか、住み慣れた家が快適なことじゃない。欲を言えばきりが無いよ。」さりとて、住みやすい家を生み出すには普請の際の「カンリ」が大切。漠然と進めては思わぬものが出来かねません。

さて上述の監理と管理。何が違うのかというと、前者は間取りや設備が図面通り施工されているかの照合や、法令遵守のチェックなど設計上の監理。後者は工事進行を総括した現場上の管理。工程管理・品質管理・安全管理があり、予定期間内竣工に向けて各業者間の連絡や連携をまとめる、搬入資材の可否を見極める、現場内の安全はもとより近隣への配慮にも注意を注ぐなど。現場監督は何かと大変です。

答え 1. むほん 2. きんせん 3. えんきよく 4. きび 5. このしろ



2016年1月の定期講習

※現在、一級建築士とは別に、さらに専門性に特化した、構造設計一級建築士資格、設備設計一級建築士資格、もあります。また、工事管理においては、建築施工管理技士があります。（筆者は一級を取得）



既存住宅状況調査技術者資格者証



住宅省エネルギー技術者講習修了証

読めますか?

1. 謀反
2. 琴線
3. 婉曲
4. 驥尾
※他人の尻馬に乗るという意
5. 鯨
ヒント：魚の名前

次号をお楽しみに

けんちくなるほどミニ知識 おもしろ建築用語7

くらしに比較的密接に関わっているペットや家畜といえば犬猫と牛馬。身近な動物は用語の中にも例えやすいようです。本号ではその一部を紹介します。

◆ねこ(猫)

【ねこ(猫)】: ①鉄骨造で、柱と梁の交点を定めるため柱に取り付けるアングル。②ダクトやパイプを吊るボルトを取り付けるアングル。③土台と基礎の間に設ける飼い物。④母屋の転び止め。主に洋風小屋組みで用いられる。「猫木」とも。⑤カート(一輪車等)。



猫と猫足場 ※図解建築用語辞典より

【ねこあしば(猫足場)】: 「カート足場」とも呼び、カート用に設けられた足場。

【ねこましようじ(猫間障子)】: 障子戸に小さな障子戸を組み込んだ障子。開閉は上下左右様々な型があり、小障子開閉部にはガラスがはめ込まれている。

【ねこばしり(猫走り)】: 天井裏などに工事に設けた狭い通路。「キャットウォーク」とも。

◆いぬ(犬)

【いぬばしり(犬走り)】: 建物の外周部軒下に、コンクリートなどで基礎からわずかに張り出して設けられる通路状の床面。

【いぬくぐり(犬潜り)】: 床の間と床脇との仕切り壁下部に設けられた開口部。通常「ちんくぐり(狝潜り)」と呼ぶ。

◆うし(牛)

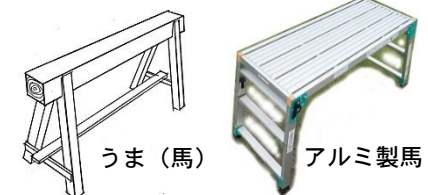
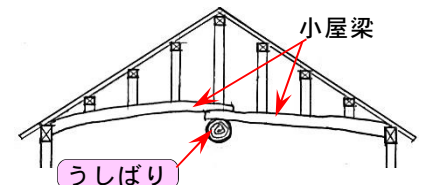
【うしばり(牛梁)】: 長大な小屋組みの和小屋で、小屋梁を受けるために中間に設けた大きな梁。桁行方向に設ける。

◆うま(馬)

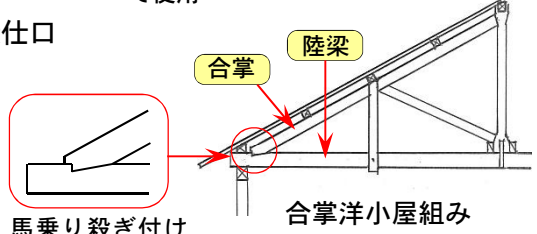
【うま(馬)】: 持ち運びに便利な4本足の架台で、加工作業台や足場台として用いられる。通常2台で1対。

【うまのりそぎつけ(馬乗り殺ぎ付け)】: 洋小屋組木造仕口の一つ。合掌と陸梁(ろくばり)の交わる仕口部分。

【うまのりめじ(馬乗り目地)】: 通常「やぶれめじ(破れ目地)」と呼び、ブロック・れんが・タイルなどで、縦目地が直線に連続しないもの。



うま(馬) アルミ製馬
2台並べて板等を置き、作業台として使用 脚伸縮可能タイプ



馬乗り殺ぎ付け 合掌洋小屋組み